

- \* 本日の礼拝で洗礼式がある。大変うれしいことである。教会は人が救われるためにあると言って過言ではない。プロテスタント教会では洗礼と聖餐を「聖礼典」と呼んで、神から特別の祝福を受ける。大きな恵みである。
- \* 聖書が示す「救い」とは、罪からの救いのこと。罪とはすべての人間に生まれつき植え付けられている本質である。神に反抗したり、神から離れたることである。神は、遠大な計画を立てられ、今から2千年前に御子イエス・キリストを救い主として地上に遣わされ、罪の奴隷であった私たちをキリストの奴隷にし、罪の赦しと永遠のいのちを与えてくださったのである。この魂の救いは良い行いや様々な奉仕や献金などによって与えられることはない。「恵みのゆえに、信仰によって」(エペソ 2:8)のみ神から与えられるものである。教会が守り続けている洗礼と聖餐という大切な2つの儀式は、神のこの救いのわざを見える形で表したものである。また、この二つはイエス・キリストが弟子たちに守り続けるようにと直接命令されたものである。
- \* 洗礼の意味①「それとも、あなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた私たちはみな、その死にあずかるバプテスマを受けたのではありませんか。私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。(ローマ 6:3~4) 洗礼とは、イエス・キリストの十字架の死と共に古い私が死んだことのあるしるしである。古い私とは、イエス・キリストを知らずにいた私、罪がわからずにいた私、また罪の解決方法が分からずにもがいていた私である。体の外に付いた汚れは水で落とすことができるが、魂の汚れはキリストが十字架で流された血でしか落ちない。
- \* 洗礼の意味②「それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、いのちにあって新しい歩みをするためです。もし私たちが、キリストにつき合わされて、キリストの死と同じようになっているのなら、必ずキリストの復活とも同じようになるからです。(6:4~6) 洗礼は新しい命に生かされるしるしである。洗礼(バプテスマ)はもともと「一体となる」という意味がある。洗礼によってイエス・キリストと一体となるのである。洗礼を受けたものはイエス・キリストにつき合わされているので、汲めども尽きないいのちに生かされ、よみがえって永遠にキリストと共にいることを約束されている。ある学者が言った。「洗礼は一つの滅ぶべき存在(人間)が永遠のいのちにのみこまれるということであり、これは「宇宙的」喜びである。それほど大きな喜びであることを改めて認識したい。しかし、受洗は「信仰生活の扉」と言われる。扉を開けて神の国の中に入ったばかりである。主イエスに接ぎ合わされ、成熟していきたい。